

平成29年3月13日
教育委員会

子ども図書館基本計画

平成29年2月
北九州市

I 子ども図書館に係る整備計画

1 計画の位置づけ

この計画は、平成30年度内に開館を目指す子ども図書館の機能とサービスを改めて明確にするとともに、その施設の整備に係る基本的な方針を明示することを目的とするものである。

2 設置の経緯

【国の動向】

平成13年に、子どもの読書活動を推進するため「子どもの読書活動の推進に関する法律」（以下、「法律」という。）が公布・施行された。第2条（基本理念）には「子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることに鑑み、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と明記されている。

【本市の動向】

本市においては、この法律に基づき、平成18年度を開始年度とする「北九州市子ども読書活動推進計画」（平成18年度～平成22年度）を策定し、続いて第2次の北九州市子ども読書活動推進計画として、「北九州市子ども読書プラン」（平成23年度～平成27年度）を定め、家庭・地域・学校・市立図書館などが相互に連携して、子どもの成長段階に応じた読書環境の充実を図ってきた。

【条例の設置】

こうした中、全国で初めてと言われる、子どもの読書に特化した「**北九州市子ども読書活動推進条例**」（以下、「条例」という。）が、平成27年6月市議会定例会において、常任委員会提出議案として上程、全会派賛成で可決され、7月3日公布施行された。

【条例の骨子】

この条例では、基本理念に加え、具体的な事業として、子どもの読書活動の推進の状況を踏まえて「北九州市子ども読書活動推進計画」を策定すること、学校図書館の蔵書の充実及び学校司書の配置や能力向上に努めることその他、子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」を設置することが定められた。

また、この条例に基づき、第3次北九州市子ども読書活動推進計画である「**新・北九州市子ども読書プラン**」（平成28年度～平成32年度）が平成28年2月に策定されており、このプランの中で、「子ども図書館」整備の基本的考え方が明示されている。

3 整備の基本的な考え方

- (1) 現在の「勝山分館 (268 m²)」と「視聴覚センター (1,633 m²)」の一部と「中央図書館エリア (4,502 m²)」の一部を改修して整備する。
- (2) 子どもの読書活動を総合的に推進するための拠点として、「各市立図書館の児童サービスの統括」と「学校支援機能」を担う。
- (3) 「新・北九州市子ども読書プラン」(北九州市子ども読書活動推進計画) に掲げる取り組みを実施する中核的な機関とする。

4 整備場所

- ・所在地 北九州市小倉北区域内4番1号(中央図書館内)

整備場所については、公共施設マネジメントなどの考え方などを踏まえて、既存施設の有効活用を前提にしている。



5 施設概要等（中央図書館）

- (1) 建築 昭和50年（築41年）
- (2) 設計者 磯崎 新
- (3) 構造 RC造及びPCコンクリート造 地上2階・地下2階建
- (4) 敷地面積 約5,849㎡（市有地）
- (5) 用途地域 商業地域
- (6) 指定容積率 400%
- (7) 指定建蔽率 80%
- (8) 防火指定 準防火地域
- (9) 延床面積 9,251㎡
- (10) 利用状況 中央図書館、勝山分館、視聴覚センター、文学館

6 施設計画等（子ども図書館）

- (1) 施設規模 延床面積 約2,000㎡
（地下1階、1階、2階のそれぞれ一部を使用）
- (2) 蔵書能力 約10万冊
- (3) 閲覧席数 約100席

7 設置後の目標

- ・貸出者数 約4.5万人／年
- ・貸出冊数 約22万冊／年
- ・来館者数 約20万人／年

※ 勝山分館利用状況

	H25年度	H26年度	H27年度
貸出者数	36,565	33,641	35,878
貸出冊数	184,297	163,420	175,578
来館者数	137,975	145,538	160,823

8 運営手法

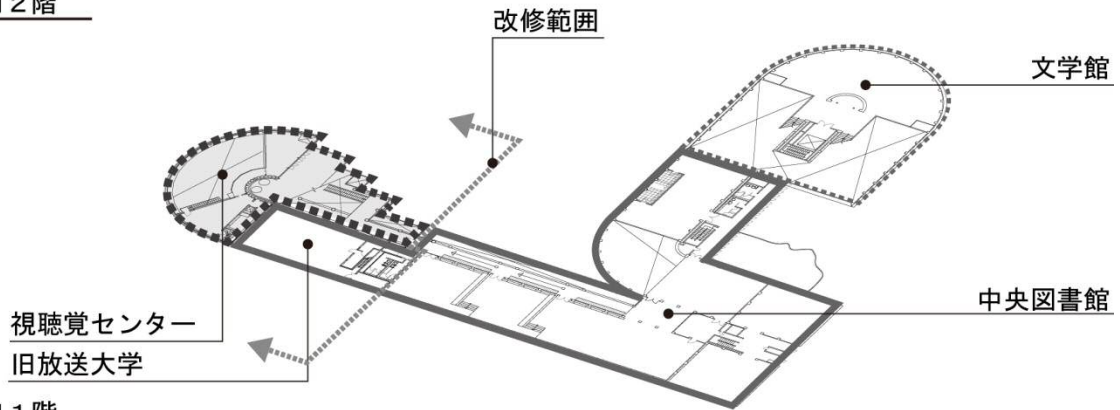
中央図書館と同様に、原則として、直営方式を採用する。
ただし、窓口業務については業務委託を検討する。

9 整備スケジュール（予定）

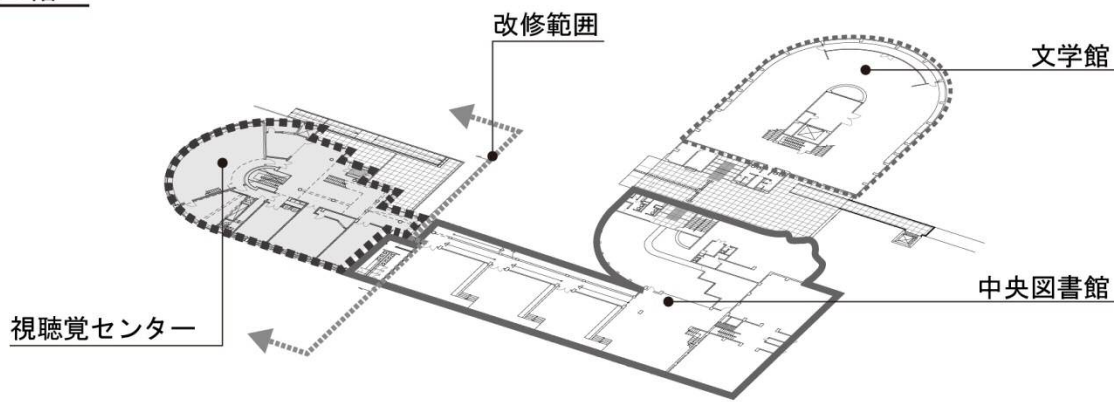
- 平成28年度 基本計画策定、設計業務に着手
- 平成29年度 設計業務完了、工事に着手
- 平成30年度 工事完了、供用開始

中央図書館 既存平面図

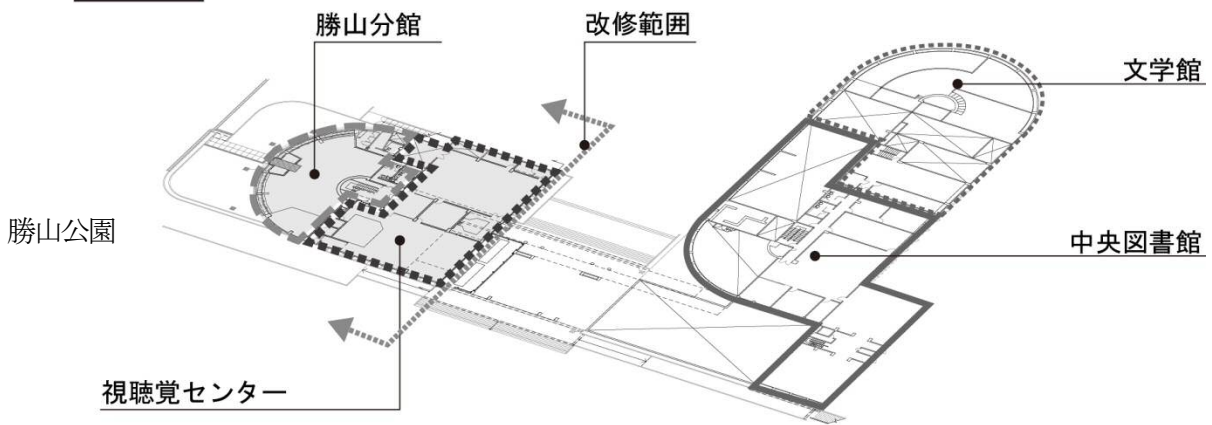
■ 2階



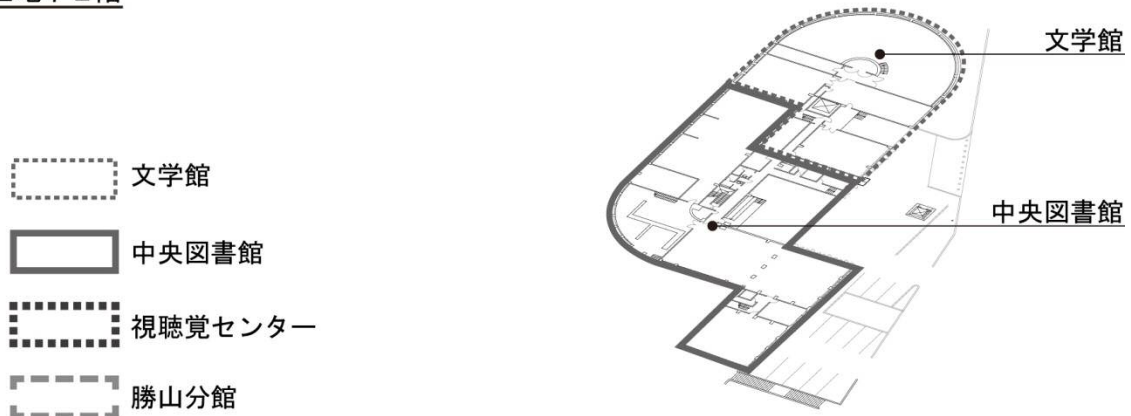
■ 1階



■ 地下1階



■ 地下2階



Ⅱ 子ども図書館の役割

1 子ども図書館の設置の目的

「子ども図書館」は、子ども読書活動を推進する拠点として、市内の図書館の児童部門のセンター的役割を担う。また、子ども向け専門図書館として、良質な資料を豊富に収集・提供するとともに、学校図書館支援センター機能、関係機関との連携の推進など、様々な支援を行うことを目的とする。

このような取り組みを行うことによって、「新・北九州市子ども読書プラン」（北九州市子ども読書活動推進計画）に掲げる基本理念の実現を目指す。

2 子ども図書館の機能・サービス

I 子ども向け専門図書館

- ・良質な資料を豊富に収集・提供（世界の絵本・児童書、歴史・社会・科学・文学資料等）
- ・子どもと本のふれあいの機会の創出
- ・親子が読書に親しみ、ゆったり過ごせる場の提供
- ・子どもの読書に関する情報の発信（ホームページ等）

Ⅱ シビックプライドを醸成する図書館

- ・子どもたちが、本市の成り立ちや地域特性、誇るべき歴史や産業、文化・芸術、スポーツなどに触れることができるような資料の収集、提供
- ・市立文学館とも連携し、本市ゆかりの作家の作品や本市を描いた文学作品を子どもたちにわかりやすく伝える場の提供

Ⅲ 市立図書館による児童サービスの統括機能

- ・地区館、分館における児童サービスの統括（レファレンス機能の強化、スタッフの研修等）
- ・地区館による地域の読書活動支援の統括
- ・地区館による地域人材（市民センター職員、ボランティア等）の育成支援

Ⅳ 学校図書館支援センター機能

- ・学校関係者（教員、学校図書館職員、ブックヘルパー等）の研修
- ・学校図書館の資料充実や活動に係る支援
- ・認定こども園、幼稚園、保育所等における子ども読書活動に係る相談支援

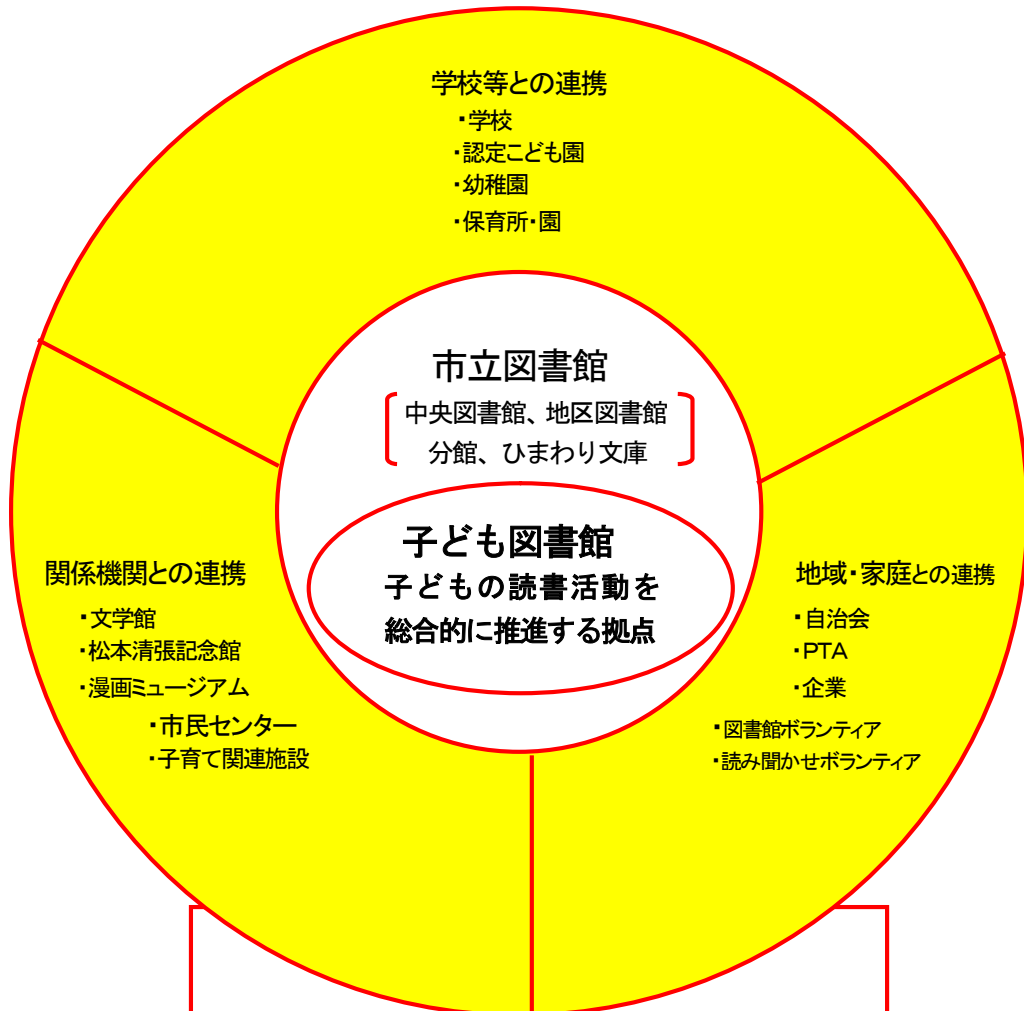
Ⅴ 地域や家庭等での子ども読書活動の支援

- ・子どもや保護者等を対象とした事業の実施（はじめての絵本事業、読書の日イベント等）
- ・読み聞かせ等の読書関係ボランティア（団体・個人）とのネットワークづくり

Ⅵ 関係機関との連携の推進

- ・子どもの読書活動促進に向けた関係機関との連携の推進（文学館、松本清張記念館、漫画ミュージアム等）

子ども図書館 機能・サービスイメージ図



子ども図書館の機能とサービス

- I 子ども向け専門図書館
- II シビックプライドの醸成
- III 児童サービスの統括機能
- IV 学校図書館支援センター機能
- V 地域や家庭等での子ども読書活動の支援
- VI 関係機関との連携の推進

『新・北九州市子ども読書プラン』の実現

〔基本目標〕

豊かな心と生きる力をはぐくむ読書環境の充実と
子どもが楽しく自主的に本を手にする読書習慣の形成

Ⅲ 施設整備の考え方等

1 施設整備の方針（コンセプト）

- 勝山公園に隣接する地下1階に幼児閲覧室、正面出入口の1階に小・中・高校生閲覧室、2階に多目的室を設置するなどフロアごとに機能をまとめ、使い勝手のよい読書環境をつくる。また、館内に新たにエレベータを設置するなど、利便性にも配慮する。
- 閲覧空間を壁のないフレキシブルで開放的な空間になるように努めるとともに、蔵書数にとらわれない、子どもたちがゆったりとくつろげる、快適な読書空間を目指す。

2 子ども図書館の特色

(1) 学校等との連携を強化し、支援の充実を図る

子ども図書館内に「学校支援センター」機能を設置し、支援の充実を図るとともに、1クラス単位で図書館を団体利用できる運営に努める。

(2) シビックプライドの醸成をアピールする

文学館と連携して、本市ゆかりの児童文学者の業績について学ぶことができるコーナーを設置する他、未来を繋ぐ子どもたちにグローバルな視点を育成する「世界の絵本と地図」のコーナーも併設する。

(3) 子どもが楽しく自主的に本を手取る読書習慣の形成に努める

図書館の行事や館内作業をサポートする等、子どもたち自らが運営に携わる図書館を目指す。また読書嫌いな子どもたちでも本を手取る工夫（「読書の記録をする通帳」の導入等）を検討するなど「不読率」の改善に取り組む。

3 施設配置計画(案)の考え方

図書館配置などの計画策定にあたっては、子ども読書活動推進会議での意見、市内の子どもたちへの聴き取り調査(平成28年5月30日～7月11日に実施)、子ども読書会議の意見・要望等を踏まえて、将来を見据えた図書館機能の充実を目指し、施設整備を行うもの。

《B1階》

- 幼児閲覧室（0～6歳までの幼児を主な対象とする閲覧室）
子どもの読書活動、子育てを支援するため、絵本や児童書、育児書の収集・充実により一層取り組む。
- ★ おはなしコーナーの設置
・靴を脱いでリラックスして本を読むことができるスペースを設置し、絵本の読み聞かせを行う他に、影絵やペープサートなどができる暗幕を取り付けるなど多機能型の仕様を検討する。
- ★ 子ども専用トイレの設置
・幼児向けのトイレを設置するとともに、赤ちゃんの駅（おむつ交換、授乳室）を併設するなど利便性の向上に努める。
- 事務室・学校図書館支援センター事務局 ● 研修室
・学校図書館等を支援するための作業などができる空間を確保する他、研修するための諸室も備え、多様な支援を行う。

- 閉架室
 - ・コンパクトなスペースで多くの蔵書数を確保するために集密書架を採用。
- ボランティア控え室（会議室）
 - ・図書館ボランティアなどが、作業、休憩できる場所を確保する。

《1階》

- 小・中・高生閲覧室
 - 小・中学校等が1クラス（40人程度）単位で活動できる空間を確保し、ブックトーク等が行えるコーナーを設置する。
- ★ 調べ学習ができるコーナーの設置
 - ・子ども新聞、図書検索システム、インターネット端末を確保する。
- CD・DVDコーナー
 - ・CD・DVDの視聴や貸し出しを行うなど、時代に沿った図書館サービス機能の充実を図る。
- シビックプライドコーナー
 - ★ 児童文学の顕彰コーナー
 - ・本市ゆかりの児童文学者の業績について学ぶことができるコーナーを設置。
 - ★ 世界の絵本と地図のコーナー
 - ・多数言語で著わした世界の絵本や地図を展示し、子どもたちにグローバルな視点を育成する。
- エントランスホール
 - ・ソファやテーブル等を置き、飲食可能なリフレッシュコーナーを設置する。

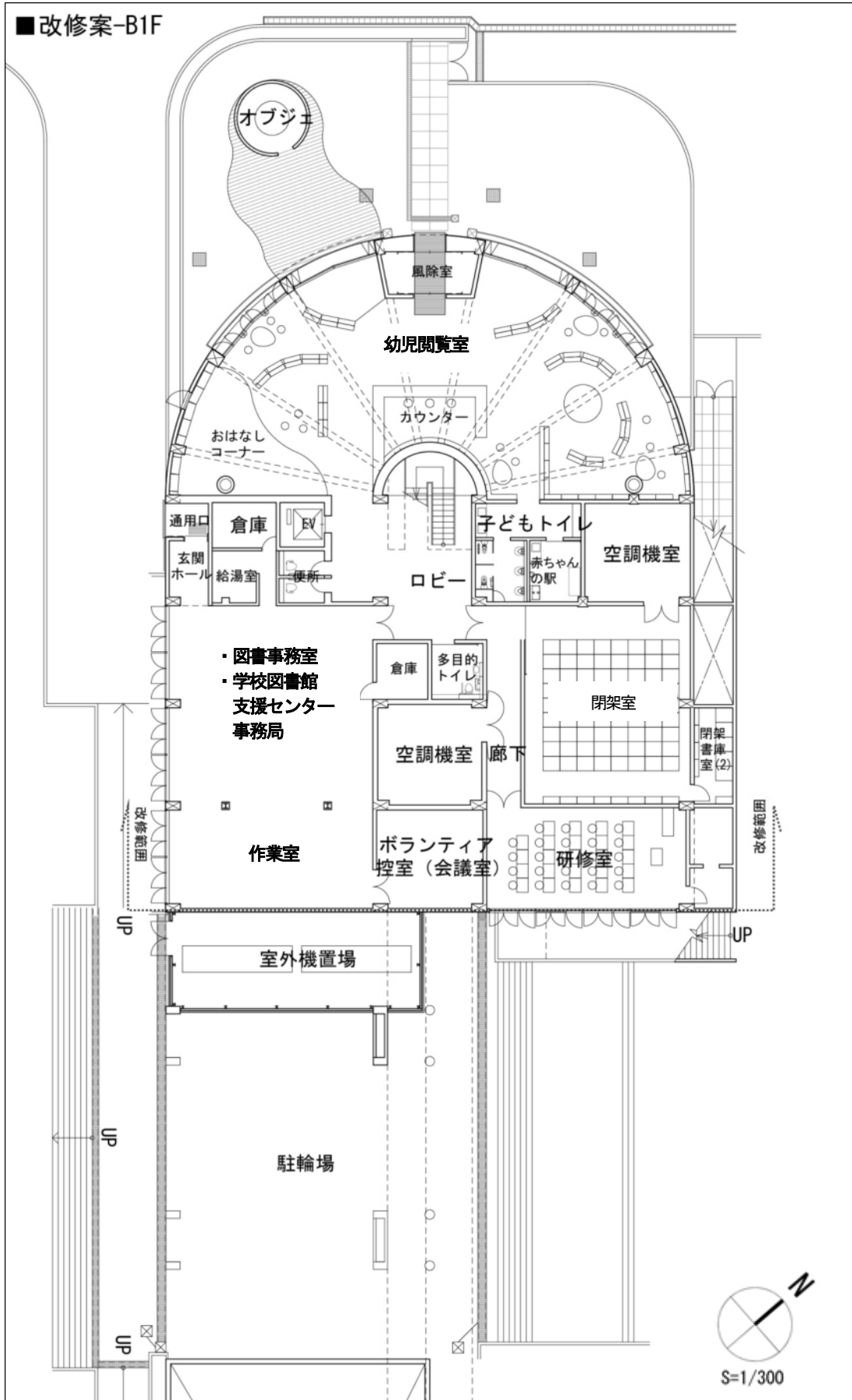
《2階》

- 多目的室
 - ・イベント、ワークショップ、会議など多機能型の空間を形成するとともに、これまで、視聴覚センターで行ってきた映画会等も開催できるようにする。
- 学習室
 - ・辞書や辞典などを配架し、学習するためのテーブルなどを設置する。
- 児童図書研究室
 - ・児童文学や児童の読書に関する研究書などを配架し、研究や会議等も行える仕様にする。

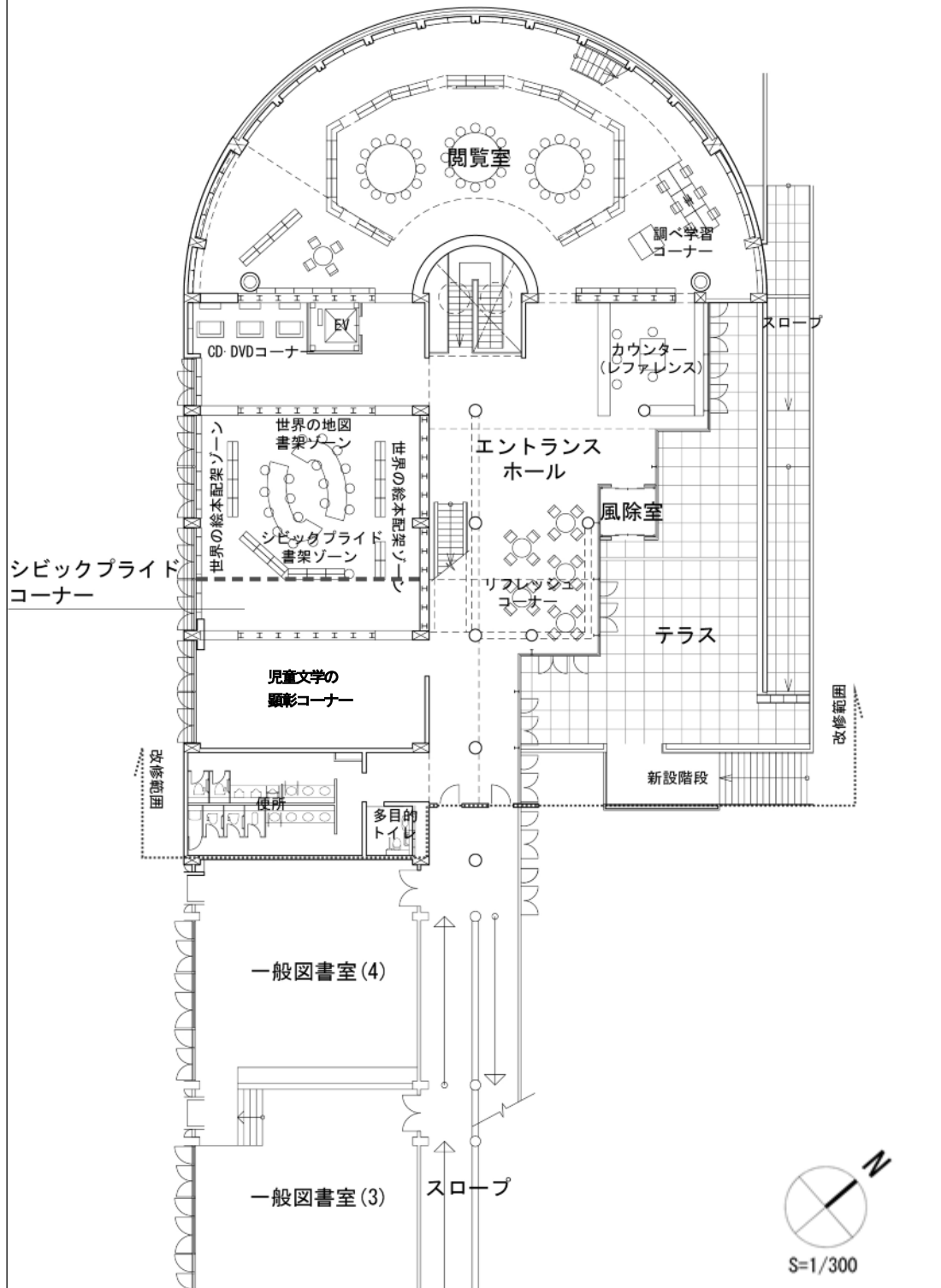
外構整備

- 1階のテラスを「子ども図書館」の正面入口として整備する。また、図書館の顔となるべき「サイン」なども玄関に設置し、ひと目で「子ども図書館」があると分かるようにする。
- 地下1階の幼児閲覧室の前庭を整備する。天気の良い日には、親子で読書できるなどの空間を目指す。また、動物や樹木等をイメージしたオブジェなどを置き、子どもたちが図書館に入りやすい工夫をする。
- スロープの再整備や、駐輪場からの導線など子ども図書館の整備にあわせて今後検討していく。

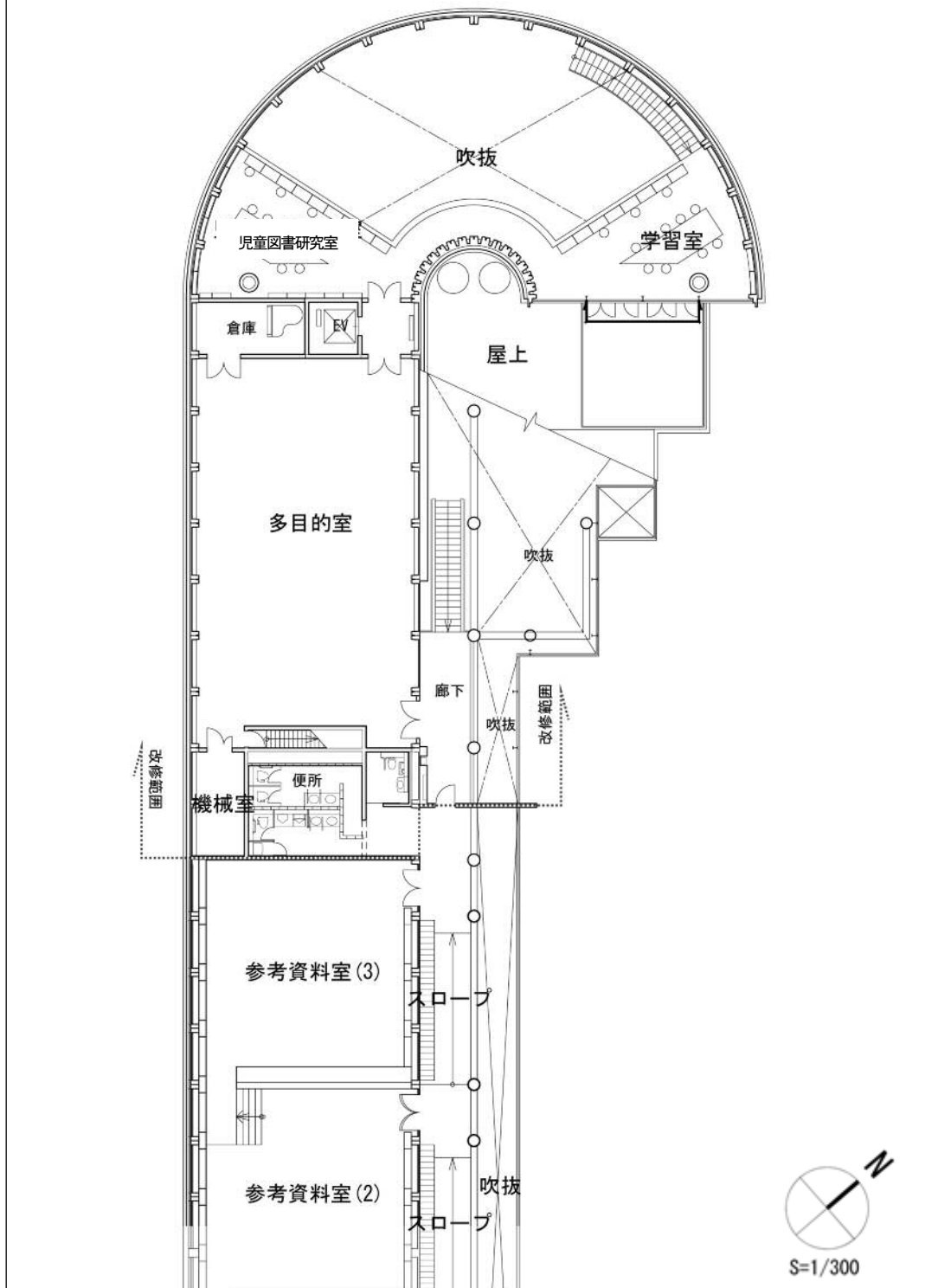
■ 施設配置イメージ図



■改修案-1F



■改修案-2F



IV 子どもの意見聴取等について

1 ヒアリング

小・中学校

(1) ヒアリング方法 車座になったのフリートーク形式

(2) ヒアリング先

対象区	ヒアリング先学校	参加者数
八幡東区	八幡小学校・中央中学校	13名
八幡西区	筒井小学校・熊西中学校	14名
門司区	萩が丘・大里東小学校・戸ノ上中学校	11名
小倉北区	西小倉小学校・思永中学校	8名
小倉南区	横代小学校・横代中学校	12名
戸畑区	中原小学校・中原中学校	7名
若松区	若松中央小学校・若松中学校	11名
合計参加者数	76名(小学生42名、中学生34名)	

(3) 子どもたちの主な声(ヒアリングおよびアンケートより)

<施設設備について>

- 子どもたちが入りやすいような雰囲気にしてほしい
- 動物のオブジェやクッション、ぬいぐるみなど、楽しいインテリアにしてほしい
- 座ったり、寝転んだり、ゆっくり本を読める場所があるとよい
- 調べ物をしたり学習できる場所がほしい
- 読み聞かせができる場所がほしい
- 外の景色を見ながら読書できるとよい
- 小さい子どもが声を出してもよい部屋がほしい
- 息抜きできるような、飲食してもよい場所がほしい
- 検索システムを充実してほしい(手軽さと便利さ)



<蔵書構成について>

- 硬い本ばかりでなく、ライトノベルも置いてほしい
- 戦争に関する資料や環境に関する資料など、資料の充実を
- 読書が苦手な人も興味をもつように、スポーツのコーナーや趣味の本のコーナーがほしい
- 本以外にもCDやDVDがあるとよい(その場で見ることも借りることもできるように)
- ものづくりの本があるとよい(実際に作ってみるなどの体験もしたい)
- 本の並べ方も工夫してほしい(ジャンル別だけでなく、作者別、趣味別等)
- 映画やテレビドラマの原作等を集めたコーナーがあるとよい
- 外国の絵本もあるとよい(英語での読み聞かせも)
- 子ども新聞コーナーがほしい
- 歴史漫画や学習漫画を置いてほしい
- 点字の本や音の出る本もいるのでは?



<イベント等について>

- 作者自身による読み聞かせ
- 工作や料理など、本の内容を体験するイベント
- バックヤードツアーをもっと回数多く
- 仕掛け絵本展（実際に部屋の中を作ってみる）
- 絵本づくり
- 人気投票、ランキングを定期的に
- 子どもたちによる司書体験



<その他>

- 本のリサイクルボックスがあるとよい
- おすすめの本など、気軽に聞けるような人がいるとよい
- 本だけでなく、漫画や映画等いろいろなジャンルの紹介やイベントをしてほしい
- 静かなだけでなく、小さい音でBGMを流すとよい（オルゴール音など）
- 本の紹介カードやポップカード作りなど、ボランティアとして自分たちもかかわりたい

幼稚園

- (1) ヒアリング方法 お絵かき(図書館をイメージしたもの)
- (2) 依頼先 北九州市立八幡東幼稚園の年長



八幡東幼稚園児によるお絵かき

テーマ：「こんなとしょかんがあったらいいな」

平成28年8月23日～9月29日まで

八幡図書館にて展示

高等・専修学校

- (1) ヒアリング方法 アンケート
- (2) 依頼先 北九州市立高等学校(231名)、戸畑高等専修学校(78名)
- (3) 生徒の主な声 学習室を広くして増やしてほしい
友達と勉強を教えあえるように、防音で個室の部屋がほしい
閲覧用のいすや机を増やしてほしい
飲食できるコーナーがあるなど、重苦しい空気ではない図書館に
してほしい

特別支援学校

- (1) ヒアリング方法 アンケート
- (2) 依頼先 北九州中央高等学園(143名)
- (3) 生徒の主な声 音の出る本や娯楽の本、ライトノベルや絵本などを置いてほしい
ぬいぐるみなどを置いてほしい
本の場所を探しやすくしてほしい

2 子ども読書会議を通して

- (1) 実施日時 平成28年8月20日(土) 14:30~16:00
(2) 会場 中央図書館第3会議室
(3) 参加者 子ども司書養成講座受講生 67名
(小学5・6年生51名、中学1・2年生16名)
*参観者：学校図書館協議会委員、学校図書館職員、保護者

(4) 会議の流れ・内容

テーマ「咲かせよう、ドリームライブラリー」

～読書や調べ活動が楽しくなる「子ども図書館」を考えよう～

目的：本を読む子どもや図書館に来る子どもを増やすには、どんな図書館にしたらいいかを考え、「子ども図書館」について提案する。

内容：グループ(8人)で「夢の子ども図書館」について話し合い、ポスターにまとめる。



「夢の子ども図書館」について、ワークシートに書いたアイデアをもとに、グループで話し合いまとめる。

- ・施設・設備について
- ・図書館でしたいこと
- ・置きたい本や資料
- ・図書館で行うイベントについて



グループで考えた「夢の子ども図書館」について、ポスターにまとめ、発表する。

<北九州のすごい!!図書館>

- ・ロボットが仕事をする
- ・北九州市の作家がくる
- ・北九州市の歴史が学べる等

具体的な内容

【建物・設備のここがすごい】

- ・個室で集中して本が読める部屋
- ・話し合ったり相談したりできる部屋
- ・ハンモックがあり、くつろいで本が読める空間
- ・子ども向けの壁の模様
- ・寝転んで本が読める部屋
- ・安川電機のロボットが仕事をしたり、トイレをTOTOにしたりして、北九州市をアピールできるようなしかけ

【図書館では、こんなことができます】

- ・北九州市の歴史（製鉄所など）が学べる
- ・勉強を教えてくれるコーナーがある
- ・本に出てくる人（キャラクター）の恰好をしている図書館
- ・自由研究ができるような図書と場所がある
- ・年に何回か、「お泊り図書館」がある

【イベント情報】

- ・司書体験
- ・利用者同士の本の紹介
- ・北九州ゆかりの作家がくる
- ・ゲーム大会（優勝者に本を10冊進呈）
- ・図書館探検
- ・本にブックカバーを掛けるイベント
- ・絵本づくり

【ここがいちおし！おすすめポイント】

- ・小さい子どもづれでもOKの個室がある（遊具もある）
- ・友達と話しながら宿題ができる広い机があるスペース
- ・24時間開館の図書館
- ・水族館のある図書館
- ・自動で貸出できる
- ・職員による本の紹介
- ・外国語コーナーがある

子どもたちの感想（主なものを抜粋）

- ・「夢の図書館」について話し合いました。たくさんの意見が出ました。とても便利で楽しい図書館ができると思いました。自分の意見が一つでも採用されたらいいなと思いました。
- ・今日出した意見を取り入れた、夢のような図書館ができるのを楽しみにしています。
- ・実現した図書館に行ってみたいです。